

新潟市総合ハザードマップ全戸配布について

近年、全国で災害が多発していることから日ごろより、各災害に各地域での危険箇所を把握していただくとともに災害時に迅速かつ適切な避難ができるよう洪水、津波などの各種災害想定を冊子にまとめた総合ハザードマップを全戸配布します。

全戸配布にあたり各自治会・町内会様からのご協力をお願いします。

最大クラスを想定したハザードマップを作成

全国で想定を上回る災害が多発しており、最大クラスの想定へ見直し

・洪水ハザードマップ（平成 30 年 3 月作成）

約 100 年に一度の大雨想定から約 1000 年に一度の大雨を想定した浸水区域へ

・津波ハザードマップ（平成 30 年 8 月作成）

国が公表した新たな知見を加えた最大クラスの津波を想定

1 総合ハザードマップについて

(1) 災害種別

災害種別	災害の想定
洪水・土砂災害	約 1,000 年に 1 度の大雨を想定
津波	国の新たな知見を加えた最大クラスの津波を想定
浸水	H10. 8. 4 水害時レベルの大雨を想定、河川氾濫は伴わない
ため池	地震や大雨により満水状態のため池が破堤した場合の浸水想定(中央区なし)

(2) 地域種別（市内 5 6 中学校区単位で作成）

〈中央区〉約 85,200 部

中学校区	部数	中学校区	部数
新潟柳都中学校区	7,000	鳥屋野中学校区	13,000
白新中学校区	6,600	宮浦中学校区	14,800
寄居中学校区	6,400	山潟中学校区	7,400
関屋中学校区	9,900	東新潟中学校区	8,400
上山中学校区	11,700		

2 全戸配布の方法・時期について

(1) 配布方法

- ・自治会・町内会の協力による全戸配布（中央区：約 500 自治会・町内会）

(2) 配布時期

- ・1 月末から順次、自治会・町内会長宅へ配送します。
- ・順次、各世帯への配布をお願いします。

ハザードマップを活用した災害への備え

災害ごとの特徴・脅威を確認しましょう

各種ハザードマップの学習面を確認

- ・洪水（雨の降り方の目安、浸水の区分、避難行動について）
- ・土砂災害（土砂災害の種類、前兆）
- ・津波（第2波、第3波と繰り返す、恐るべき破壊力、ジェット機並みの速さ）

お住まいの地域の危険箇所や避難所を確認しましょう

各種ハザードマップの地図面を確認

- ・洪水（浸水の深さ、避難所の評価＝何階以上避難可能かを判定等）
- ・土砂災害（警戒区域の範囲、対象避難所等）
- ・津波（浸水の深さ、津波到達までの時間、津波避難ビル等）
- ・浸水（浸水の深さ、冠水の恐れのあるアンダーパス等）

災害時の避難行動を考えましょう

災害情報を確認する手段

- ・にいがた防災メールや緊急告知 FM ラジオ等、複数の手段で避難情報を入手

持ち出し品の確認

- ・平時から水、食料、常備薬、衛生用品、季節にあわせた衣類等を準備

家族との連携

- ・平時から避難場所や避難経路、連絡手段等を決め家族で共有

地域の共助での取り組みにハザードマップを利用しましょう

地域の避難訓練に活用

- ・地域の特性を考慮した避難場所や避難経路、要支援者への支援などを検討する
- ・避難訓練等で検討した避難方法を確認する